

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイトに記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	福留 美優	学年(渡航時)	3 年
派遣先大学	国立台湾大学		
国・地域	台湾		
派遣期間	2024 年 2 月	～	2024 年 12 月

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Global Brand Management	ブランドエクイティ構築やデジタル時代のブランディングを含むブランド戦略を学ぶ。
Market and Strategy	市場と企業戦略の関係を理論と実証を通じて学び、戦略的意思決定がどのように影響するのか研究する。
Exploring Taiwan: Women and Society	台湾女性の社会進出、男女格差について学ぶ。
General Chinese Language Course	言語の授業
2 学期目	
履修科目	授業内容
Global Marketing and Negotiation Skills	異文化間での交渉スキルを実践的なシュミレーションを通じて学ぶ。
International Business Strategy	TSMC や Nintendo など国際展開する企業の経営戦略について、ケーススタディを通じて学ぶ。
Exploring Taiwan: Natural Environment and Resources	台湾の自然環境・自然についてフィールドワークを通じて学ぶ、留学生向けの授業
General Chinese Language Course	言語の授業

留学レポート(1,500 字以上)
○履修について 2 学期制で、2 月から 6 月が春学期、9 月から 12 月が秋学期となっている。それぞれの学期ごとに my ntu というシステムで履修登録を行う。第一次選考・第二次選考があり、学校が始まってから 2 週間は、授業追加・削除を自由にすることができる(英語のマニュアルもあるので、わかりやすい)。しかし、生徒数が多いため、第一希望の授業以外全て抽選に外れるということもあるので、多めに登録することをおすすめする。また、抽選に外れたとしても、最初の授業に参加し、教授からコードをもらうことができれば、履修することが可能である。そのため、興味のある授業の最初の授業には、参加すること。 ○授業について

一コマ 50 分の、休憩 10 分が基本で、2 コマ・3 コマ連続の授業が大半だった。学部の授業では、事前課題や事前に提示された範囲の参考書を読んできた前提で授業は進められた。成績の評価については、授業によって大いに異なる。経済の授業は、中間・期末テストの成績で決まるものが多かった印象を受けた。経営の授業は、プレゼンやレポートの配分が多かった。台湾で一番の大学であるため、意欲があり、勉強熱心な学生が多かった。私も彼らの学習態度・意欲には見習うものが多くあり、刺激を受けた。

Market and Strategy

この授業では、市場の動向と企業戦略の関係性を深く理解することを目的に、理論的モデルや実証的手法を学んだ。特に市場力、価格差別化、製品の差別化、広告、ネットワーク効果などのテーマが印象的であった。理論的な枠組みを現実のケーススタディに応用することで、戦略的意思決定がどのように市場に影響を及ぼし、またその逆もあることを実感した。

Global Brand Management

ブランディング戦略に特化したこの授業では、ブランドが単なる認識のための名前以上の価値を生み出す手段であることを学んだ。ブランドエクイティの構築や管理、デジタル時代におけるブランディング、グローバル市場でのブランド展開など、多様な側面からブランド戦略を探究した。グループで特定のブランドのケーススタディを行い、企業がブランドを通じて顧客との強固な関係を築いたのか、研究でき非常に興味深かった。

Global Marketing and Negotiation Skills

この授業では、交渉の理論と実践を学んだ。交渉スキルは、就職活動や日常的な意思決定においても必要不可欠な能力であり、授業ではロールプレイ形式のシミュレーションを通じて、実践的な交渉能力を磨く機会が与えられました。異文化間での交渉や心理的要因が交渉結果に与える影響について学ぶ中で、グローバルな視点を持つことの重要性を痛感した。

○寮について

留学生の寮は 2 つあり、学校から 10 分ほど歩いた台湾大学が所有する Prince Dorm と MRT (地下鉄) と寮専用のシャトルバスを使い学校から約 40 分ほどの Yuantong Dorm がある。Prince Dorm は、シングル、ダブル、スイートの 3 種類があり、Yuantong Dorm は 4 人部屋しかない。申請をする際に、4 つの中から、第一希望から第四希望を選択できる。私は、Prince Dorm を希望していたが、抽選に外れたため、Yuantong Dorm に 1 年間住むことになったが、部屋には、ベット・勉強机・トイレ・シャワー・洗面台と最低限の作りで、プライバシーがない。しかし、毎晩今日あった出来事や授業に関する質問など、英語・中国語を使って話すため、とてもいい環境であった。また、フロアのロビーにはテレビがあり、週末には映画鑑賞会をしたり、それぞれの文化や慣習について意見交換をすることがあり、私の思い描いていた留学生生活を過ごすことができた。

○派遣先大学のサポート体制について

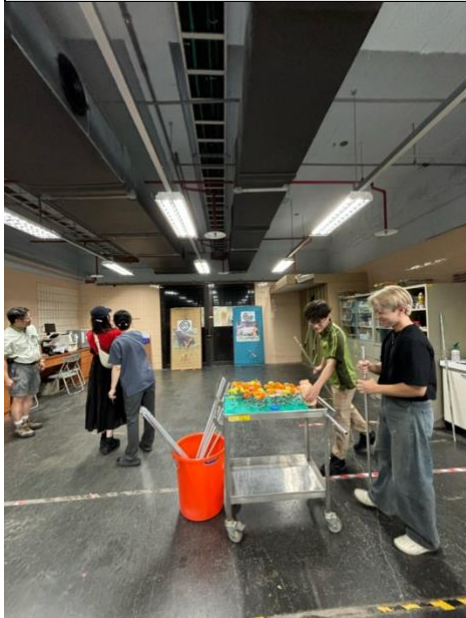
ヨーロッパ、オセアニア、東アジアなど、各地域ごとに担当の職員の方がおり、履修や大学のシステムについて分からないことがあり、メールを送るとすぐに対応してもらえた。また、留学生それぞれにチューターの学生がおり、学校生活だけでなく、銀行口座の開設や携帯会社の契約など生活面のサポートも親切に手伝ってもらった。定期的に留学生のイベントが開催されていたため、交流関係を広げやすい環境であった。

○最後に

台湾は日本と共通点が多く、日本チェーン店も多いため、文化や食などの違いから悩むことはなかった。最初の学期は、授業中に質問されても、すぐ自分の意見を英語に置き換えることができないこと、他の生徒との学力の差に圧倒され、授業を理解することも意見を述べることも、とても悔しい思いをした。そのため、授業でのディスカッションに加わるのも難しく、自分の英語力と学問分野知識の不足に日々落ち込んでいました。しかし、諦めずに努力を続ける中で、すぐに答えられるとまではいかないものの、意見交換の場に加われる

ようになり、多文化社会学部では学ぶ機会がない、マーケティングの知識を学ぶことができ、自分の幅が広がったと感じる留学であった。

留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



- ① 左上: Exploring Taiwan: Natural Environment and Resources の授業で、動物園のヘルスセンターにて麻酔銃を撃つ体験をした写真。
- ② 上中央: Exploring Taiwan: Natural Environment and Resources の授業で、蛇を触ったときの写真。
- ③ 右上: 台湾の企業に落札された大谷翔平選手の第 50 号ホームランボールを見に行った時の写真。
- ④ 左下: プレミア 12 予選ラウンド 日本対韓国戦を観戦した写真。(日台戦は、人気のため販売開始してすぐに売り切れたため買うことができなかった)
- ⑤ 台北にある、象山に登山に行った時の写真。